

10/505172
Rec'd PCT/PTO 31 AUG 2004
P JPC3/11671

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

11.02.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2002年 9月11日

REC'D 30 OCT 2003

出 願 番 号
Application Number: 特願2002-264907
[ST. 10/C]: [JP2002-264907]

WIPO. PCT

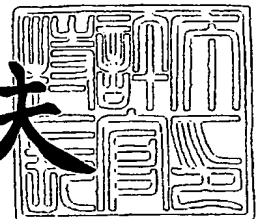
出 願 人
Applicant(s): 松下電器産業株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年10月17日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 2210740003

【特記事項】 特許法第 3 0 条第 1 項の規定の適用を受けようとする特
許出願

【提出日】 平成14年 9月11日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H01M 2/04

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
 会社内

 【氏名】 仲津 研一

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
 会社内

 【氏名】 姫田 典子

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
 会社内

 【氏名】 多田 大

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
 会社内

 【氏名】 岡本 次郎

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式
 会社内

 【氏名】 前田 直子

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100080827

【弁理士】

【氏名又は名称】 石原 勝

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011958

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【物件名】 新規性の喪失の例外証明書 1

【提出物件の特記事項】 追って補充する。

【包括委任状番号】 9006628

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品保持部材及び商品包装体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数個の商品を複数のタブに着脱可能に保持した商品保持部材であって、前記タブは、それぞれの一端にて前記複数の商品を個々に保持し、他端にてタブを一体化する保持片に接続され、さらに切取線を介して前記保持片からタブ毎に分離可能であり、前記タブおよび保持片が、樹脂シート材を加熱成形して一体成形されてなることを特徴とする商品保持部材。

【請求項 2】 複数個の商品を複数のタブに着脱可能に保持した商品保持部材を収容する商品包装体であって、前記タブは、それぞれの一端にて前記複数の商品を個々に保持し、他端にてタブを一体化する保持片に接続され、さらに切取線を介して前記保持片からタブ毎に分離可能であり、前記タブおよび保持片が、樹脂シート材を加熱成形にて一体成形したタブ形成面とされ、このタブ形成面が少なくとも前記商品を収容する蓋体面および本体面を具備する包装容器にて保持されてなることを特徴とする商品包装体。

【請求項 3】 蓋体面、および本体面が、シート材から形成され、且つ折曲線を介して一体化されており、前記蓋体面と本体面との間にタブ形成面が配置される請求項 2 記載の商品包装体。

【請求項 4】 シート材を折曲部位で折り曲げ、複数面を形成すると共に、所要面に商品収容凹部を形成して包装体が形成され、複数の商品それぞれに一端を着脱可能に貼着した複数のタブを他端で分離可能に連結した連結商品を前記商品収容凹部が形成された面に収容し、商品収容凹部が形成された面上に前記折曲部位で折り曲げた蓋体となる面を重ね合わせ、両面間が開閉可能に形成されてなることを特徴とする商品包装体。

【請求項 5】 包装体に嵌合部が形成され、この嵌合部により蓋体となる面と商品収容凹部が形成された面とを嵌合接続し、開閉可能にしてなる請求項 4 記載の商品包装体。

【請求項 6】 複数のタブが、切取線を介して分離可能に連結形成したタブ形成面を備え、このタブ形成面が包装体の所定面の端辺に折曲部位を介して延出

形成され、折曲部位から所定面上に折り返されてなる請求項 4 記載の商品包装体。

【請求項 7】 タブ形成面が複数に形成されてなる請求項 6 記載の商品包装体。

【請求項 8】 前記折曲部位が、複数の折曲線からなるヒンジ部にて構成される請求項 4 ～ 7 の何れかに記載の商品包装体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品を販売又は携帯、保管の用に供するために複数個を 1 パッケージにするための商品保持部材及び商品包装体に関し、特に小型のボタン形電池などのように指先での扱いも困難なほどに小型化された商品の取り扱いを容易にすることを特徴とするものである。

【0002】

【従来の技術】

小型商品の一例である小型のボタン形電池、或いはコイン形電池（本願では、以下、コイン形電池に表現を統一して説明する）は、耳孔式補聴器や腕時計用などの小型機器、また各種携帯機器の形状に対応させて小型化がなされており、その直径が 8 mm を切るものが商品化されている。このような小型のボタン形電池は指先で摘むことさえ困難で、小型機器の電池収容部に装填することが困難となる。特に、視力や指先の動きが衰えた高齢者や障害者では、より取り扱いが困難である。

【0003】

また、小型のボタン形電池は必然的に電池容量は小さく、電池切れに至った状態になると俄に不自由になることから、定期的な交換を必要とし、さらに速やかに交換できるように、複数個を 1 パッケージにして販売され、これを購入したユーザは携帯や保管の用に供する。携帯や保管の際に小型のボタン形電池は、電池単体になると、小さいがために他の物品中に紛れ込んだり、紛失してしまうことが多い。さらに、電池単体の状態でボタン型電池を鞆や財布に収容し、携帯や保

管等した場合には、電池が導電性を有する他の収容物と接触し、電池が短絡状態に陥る可能性もある。そこで、複数個のボタン型電池をパッケージのままに携帯又は保管し、必要に応じて1個のボタン形電池を取り出すように構成される。

【0004】

例えば、図10に示す包装体は、5個のボタン形電池を1パッケージにして、包装体100を構成する台紙104と、台紙104上に配した複数のボタン形電池を個々にカバーする凸部106を形成したカバー5とに、それぞれミシン目102、103が形成され、ミシン目102、103から切り離すことにより、1個ずつボタン形電池を取り出すことができるように構成されている（特許文献1参照）。

【0005】

このようなミシン目から包装体を切り離して包装された複数の商品から1個ずつ取り出すことができる構造は、小型のボタン電池だけでなく薬の錠剤などにも類似の構造を見ることができるが、上記従来構造では、台紙104のミシン目102と、カバー5のミシン目103との形成位置にずれを設けることにより、輸送などの取り扱い中に包装体がミシン目から不用意に折れてしまうことを防止する機械的強度の向上が図られている。

【0006】

【特許文献1】

特開2002-12263号公報（第3～6頁、図1）

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来技術の構造は、複数の商品を包装した包装体の機械的強度を向上させ、商品を1個ずつ取り出すのに有効であるが、商品が小さくなればなるほど取り出した商品の扱いが困難であることを解決できない問題があった。例えば、小型商品が小型のボタン形電池であるとき、取り出したボタン形電池を機器に装填する作業が伴う。特に直径が8mmを下回るようなボタン形電池になると、指先での扱いも困難となり、小型化された機器に装填する作業は困難であり、高齢者や障害者になると扱いが不可能になることさえ予想される。

【0008】

また、商品を使用、交換する毎に、ミシン目から包装体を切り離し、収容された商品を取り出しており、商品の取り出し後に不要となった包装体の面でも問題を有していた。例えば、上記と同様に小型電池であるとき、電池の取り出し後に切り離された包装体は不要となり、廃棄される。使用者には、電池の交換と同時に廃棄物の処理を強いることになり、特に包装体を携帯した状態では、不要となった包装体を持ち帰る、或いは適切な廃棄箇所への廃棄等の処理が必要となり、使用者の負担が大きかった。さらには、包装体に使用される樹脂材料を回収し、リサイクルに有効に活用できないという問題も有していた。

【0009】

本発明が目的とするところは、複数の商品、特にボタン型電池、薬剤等の小型商品の取り扱いを容易にすると共に、複数の商品を一体化してシート材で形成した包装体に収容し、携帯、保管性に優れ、且つ不要となった際の廃棄物を最少にしてパッケージするための商品保持部材及びこの商品保持部材を備えた商品包装体を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明に係る商品保持部材は、複数の商品を複数のタブに着脱可能に保持した商品保持部材であって、前記タブは、それぞれの一端にて前記複数の商品を個々に保持し、他端にてタブを一体化する保持片に接続され、さらに切取線を介して前記保持片からタブ毎に分離可能であり、前記タブおよび保持片が、樹脂シート材を加熱成形して一体成形されてなることを特徴とする。

【0011】

このような分離可能なタブを備えた商品保持部材は、複数の商品は個々にタブに固定されており、さらに各タブを保持片にて一体化する構成としている。商品の使用時には保持片からタブを切り離すことで、タブの先端部に商品が固定された状態とされ、小型の商品であってもタブにより取り扱いが可能になり、使用者の使い勝手は大きく向上する。また、商品の保持部材が樹脂シート材を加熱成形

(真空成形及び／又は圧空成形)にて形成しており、タブおよび保持片が一体成形可能なことから、商品保持部材の作成コストを大幅に低減することができる。

【0012】

また、本発明に係る商品包装体は、複数個の商品を複数のタブに着脱可能に保持した商品保持部材を収容する商品包装体であって、前記タブは、それぞれの一端にて前記複数の商品を個々に保持し、他端にてタブを一体化する保持片に接続され、さらに切取線を介して前記保持片からタブ毎に分離可能であり、前記タブおよび保持片が、樹脂シート材を加熱成形にて一体成形したタブ形成面とされ、このタブ形成面が少なくとも前記商品を収容する蓋体面および本体面を具備する包装容器にて保持されることを特徴とする。

【0013】

この構成によれば、上述した商品保持部材を備えた包装容器を得られ、使用者の利便性が向上する効果が得られる。

【0014】

また、上記の商品包装体において、蓋体面、および本体面が、シート材から形成され、且つ折曲線を介して一体化されており、前記蓋体面と本体面との間にタブ形成面が配置される。この構成では、商品保持部材と蓋体面、本体面が一体形成されることから、一層のコスト削減効果を得ることができる。また、包装容器の各構成面が同一種の樹脂材料で形成されることから、廃棄時に容器、タブに分別した廃棄を必要とせず、リサイクル性に優れた商品包装体を提供でき、環境への寄与度が大きなるものである。

【0015】

更に、本発明に係る商品包装体は、シート材を折曲部位で折り曲げ、複数面を形成すると共に、所要面に商品収容凹部を形成して包装体が形成され、複数の商品それぞれに一端を着脱可能に貼着した複数のタブを他端で分離可能に連結した連結商品を前記商品収容凹部が形成された面に収容し、商品収容凹部が形成された面上に前記折曲部位で折り曲げた蓋体となる面を重ね合わせ、両面間が開閉可能に形成されてなることを特徴とする。

【0016】

尚、本構成では、商品保持部材に商品が配置された形態としており、商品保持部材とこれに配置された複数の商品とを総称して連結商品としている。

【0017】

上記構成によれば、複数の商品はそれぞれタブの一端が貼着されて連結商品として包装体に収容されているので、包装体を開いてタブを連結商品から切り離すと1個の商品を取り出すことができる。商品にはタブが貼着した状態になっているので、タブを摘むことにより指先でも取り扱い難い小型商品であっても容易に保持することができる。また、複数の商品を一体に連結して包装体に収容しているので、小型商品を紛失したり取り扱いが困難になることがない。

【0018】

更に、商品を使用した後、タブの先端部は商品を貼着するための粘着性を維持しており、この部位を包装体の一部に再度、貼着することで、使用後のタブを商品包装体にて収容、或いは保持することができ、使用者がタブの後処理に煩わされるのを低減でき、特に携帯使用時におけるタブの投棄を抑制できる効果も奏する。

【0019】

更に、上記構成において、複数のタブを切取線を介して形成したタブ形成面が包装体の所定面の端辺にヒンジ部を介して延出形成し、ヒンジ部から所定面上に折り返して構成することにより、包装体をシート材から形成する際に複数のタブが形成され、各タブの先端に小型商品を貼着すると、包装体と一体に連結小型商品を構成することができ、タブを切取線から切り離すと小型商品を取り出すことができる。

【0020】

また、タブ形成面を複数に形成することにより、より多くの商品を包装体に組み込むことができる。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照して本発明の実施形態について説明し、本発明の理解に供する。尚、以下に示す実施形態は本発明を具体化した一例であり、商品包装体

に収容される商品としてボタン形電池を例示している。従って、本実施形態における開示は、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

【0022】

図1は、第1の実施形態に係る商品包装体1の構成を示すもので、ポリエチレンテレフタレート（以下、PET）の透明シート材により本体12及び蓋体13を形成した包装体11内に、複数（ここでは6個）のボタン形電池（小型商品）7をタブ8を設けた保持片9によって一体化した電池連結体10を収容している。この電池連結体10は、樹脂シートを加熱成形（真空成形及び／又は圧空成形）加工して、タブ8および保持片9を一体化した状態に形成し、隣接するタブの間を切断するように打ち抜き加工を施すと共に、タブ8と保持片9との間にミシン目を設けるように加工することでタブ8が保持片9から容易に切り離されるようにしており、これらの加工により商品保持部材が形成される。そして、形成された商品保持部材の先端部に電池7を配置することで、電池連結体10として

【0023】

前記包装体11は、PETのシート材を加熱成形（真空成形及び／又は圧空成形）加工して、電池連結体10を収容する本体凹部14、蓋体凹部15及び嵌合凸部18を形成すると共に、プレス加工により吊り下げ穴16や蓋体13を本体12上に折り曲げるヒンジとなるミシン目を設けた折曲線17を形成し、蓋体13に嵌合片19を設けた外形を形成したものである。

【0024】

また、前記電池連結体10は、図3に示すように、PETシート材を分離線6により分割して複数のボタン形電池7それぞれに対応するタブ8を形成し、各タブ8はミシン目を設けた切取線19で保持片9に接続し、各タブ8の先端部にそれぞれボタン形電池7を貼着したものである。タブ8のボタン形電池7への貼着は、ボタン形電池7の平滑面に対して剥離可能な粘着によってなされるようにするのが好ましい。

【0025】

上記電池連結体10を包装体11の本体凹部14又は蓋体凹部15に収容し、

折曲線 17 から折り曲げて本体 12 上を蓋体 13 によって閉じると、蓋体 13 に形成された嵌合片 19 が本体 12 に形成された一对の嵌合凸部 18 の間に嵌まり合い、図 2 に示すように、本体 12 と蓋体 13 とが嵌合した状態となる。この嵌合状態で吊り下げ穴 16 により吊り下げ販売の用に供することができ、これを購入したユーザは 6 個のボタン形電池 7 を携帯し、保管することができる。

【0026】

ボタン形電池 7 は、保持片 9 から一片のタブ 8 を切取線 19 から切り離すと、タブ 8 の先端にボタン形電池 7 が貼着された状態になるので、ボタン形電池 7 が小型化されたものであっても、タブ 8 を摘んで保持することができ、そのまま機器の電池収容部のボタン形電池 7 を収め、タブ 8 の貼着を剥がすとボタン形電池 7 を機器に装填することがきる。

【0027】

図 4 は、第 2 の実施形態に係る商品包装体 2 の構成を示すもので、PET のシート材によって形成された包装材 21 に 6 個のボタン形電池 7 を収容し、販売あるいは携帯、保管の用に供することができるよう構成している。

【0028】

前記包装材 21 は、図 5 に展開状態にして示すように、PET シート材を加熱成形加工及びプレス加工して、電池収容凹部 25 を形成した本体面 22 と、蓋体面 23 と、ボタン形電池 7 に貼着するタブ 28 を形成したタブ形成面 24 と、蓋体面 23 を本体面 22 上に閉じた状態に固定するための閉じ面 26 とが形成され、各面の間はヒンジとなるミシン目を形成した折曲線 27a, 27b, 27c によって接続されている。前記本体面 22 と蓋体面 23 とには、それらを重ね合わせたときに一致するように吊り下げ穴 43a, 43b が形成されている。また、タブ形成面 24 は、本体面 22 に折曲線 27c で接続された保持片 30 に 6 個のボタン形電池 7 それぞれに対応させて分離線 29 で分離させた 6 片のタブ 28 が形成されている。

【0029】

6 個のボタン形電池 7 は、各タブ 28 の先端に貼着される。ここではボタン形電池 7 は、図 6 に示すように、接続テープ 5 によりタブ 28 に貼着されている。

接続テープ 5 は、電池貼着面 5 a がボタン形電池 7 に貼着され、電池貼着面 5 a から延出形成されて電池貼着面 5 a 上に折り返された折り返し面 5 b がタブ 2 8 の先端に貼着されている。この接続テープ 5 によりタブ 2 8 にボタン形電池 7 が貼着されていることにより、タブ 2 8 を摘んでボタン形電池 7 を保持し、ボタン形電池 7 を機器の電池収容部に収容した後、タブ 2 8 を前記折り返し面 5 b の折り返し方向に引くと、ボタン形電池 7 から電池貼着面 5 a の剥離が容易になされ、タブ 2 8 からボタン形電池 7 を剥離する際に、機器の電池収容部に収容したボタン形電池 7 を引き出してしまうことがない。

【0030】

6 片のタブ 2 8 の先端に接続テープ 5 を介して貼着された 6 個のボタン形電池 7 は、タブ形成面 2 4 が折曲線 2 7 c から本体面 2 2 上に折り曲げられることにより、本体面 2 2 に形成された電池収容凹部 2 5 内に収容される。タブ形成面 2 4 が折り曲げられた本体面 2 2 上に折曲線 2 7 a から蓋体面 2 3 を折り曲げて本体面 2 2 上を被覆し、蓋体面 2 3 に形成された 2 ヶ所の嵌合凸部 4 1、4 1 を本体面 2 2 に形成された 2 ヶ所の嵌合凹部 4 2、4 2 を嵌入させると、本体面 2 2 上を蓋体面 2 3 で閉じた状態が得られる。販売時には、蓋体面 2 3 に折曲線 2 7 b を介して形成された閉じ面 2 6 を本体面 2 2 の背面にテープ止めすると、蓋体面 2 3 を閉じた状態が固定されるので、吊り下げ穴 4 3 a、4 3 b で吊り下げ陳列することができる。

【0031】

上記商品包装体 2 を購入したユーザは、閉じ面 2 6 のテープ止めを剥がし、嵌合凸部 4 1 と嵌合凹部 4 2 との間の嵌合を解除することにより蓋体面 2 3 を開いてボタン形電池 7 を取り出すことができる。図 4 に示すように、各タブ 2 8 は分離線 2 9 で個々に隣り合う間が切り離されており、分離線 2 9 は指掛け用の凹部が形成されているので、指掛け凹部に指先をあてて任意のタブ 2 8 を引き上げることができ、タブ 2 8 を切取線 4 4 で保持片 3 0 から切り離すとボタン形電池 7 を取り出すことができる。ボタン形電池 7 が指先での取り扱いも困難なほど小型化されたものであっても、タブ 2 8 を摘んで保持することができ、ボタン形電池 7 を機器の電池収容部に収めた後、タブ 2 8 を接続テープ 5 の折り返し方向に引

くと、前述したように接続テープ5がボタン形電池7から容易に剥離される。

【0032】

図7は、第3の実施形態に係る商品包装体3の構成を示すもので、包装体31に12個のボタン形電池7を1パッケージに包装できるように構成されている。

【0033】

前記包装体31は、図8に示すように、PETのシート材を加熱成形加工及びプレス加工して、本体面32、蓋体面33、第1タブ形成面34、第2タブ形成面35を形成している。本体面32には2列に12個のボタン形電池7を収容する電池収容凹部36が形成され、第1のタブ形成面34に形成された6片のタブ40それぞれの先端に接続テープ5を介して貼着されたボタン形電池7と、第2のタブ形成面35に形成された6片のタブ40それぞれの先端に接続テープ5を介して貼着されたボタン形電池7とが収容される。

【0034】

図7に示すように、第1のタブ形成面34を折曲線47bから本体面32上に折り曲げ、第2のタブ形成面35を折曲線47cから蓋体面33上に折り曲げ、蓋体面33を折曲線47aから本体面32上に折り曲げ、蓋体面33に形成された2ヵ所の嵌合凸部38、38に本体面32に形成された2ヵ所の嵌合凹部37、37を嵌入させることにより、図9に示すように、12個のボタン形電池7を包装体31内に収容することができる。

【0035】

ボタン形電池7を取り出すときには、嵌合凹部37と嵌合凸部38との間の嵌合を解除して、図7に示すように蓋体面33を開き、任意のタブ40を切取線50から切り離すと、タブ40の先端に接続テープ5を介してボタン形電池7が貼着された状態で取り出すことができる。ボタン形電池7が指先でも取り扱いし難いほどに小型化されたものであっても、タブ40を摘んでボタン形電池7を保持することができるので、そのまま機器の電池収容部にボタン形電池7を収容し、タブ40を引くとボタン形電池7から接続テープ5を剥離することができる。

【0036】

以上説明した第1～第3の各実施形態における商品包装体1、2、3は、複数

のボタン形電池 7 を包装した例を示したが、小型商品はボタン形電池 7 に限定されるものではなく、指先での取り扱いが困難なほどに小型化されたもの、例えば、釣り針や各種裁縫用の針、さらにはネジや釘を対象とする場合でもよい。さらに菓子や調味料等の食品、薬剤であっても、これらをタブに保持することで本実施形態と同様の効果を得ることができる。また、手先の動きや視力が低下した高齢者や障害者でも取り扱いを容易にする場合にも適用することができる。

【0037】

【発明の効果】

以上の説明の通り本発明に係る商品包装体によれば、指先での取り扱いが困難な商品を複数個収容して、取り扱いやすい状態にして 1 個ずつ取り出すことができるので、指先の動きが低下した高齢者や障害者でも小型商品の取り扱いが容易となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 の実施形態に係る商品包装体の構成を示す平面図。

【図 2】

同上商品包装体の斜視図。

【図 3】

同上構成における電池連結体の構成を示す平面図。

【図 4】

第 2 の実施形態に係る商品包装体の構成を示す斜視図。

【図 5】

同上構成における包装体の構成を示す平面図。

【図 6】

同上構成における商品包装体の断面図。

【図 7】

第 3 の実施形態に係る商品包装体の構成を示す斜視図。

【図 8】

同上構成における包装体の構成を示す平面図。

【図 9】

同上構成における商品包装体の断面図。

【図 10】

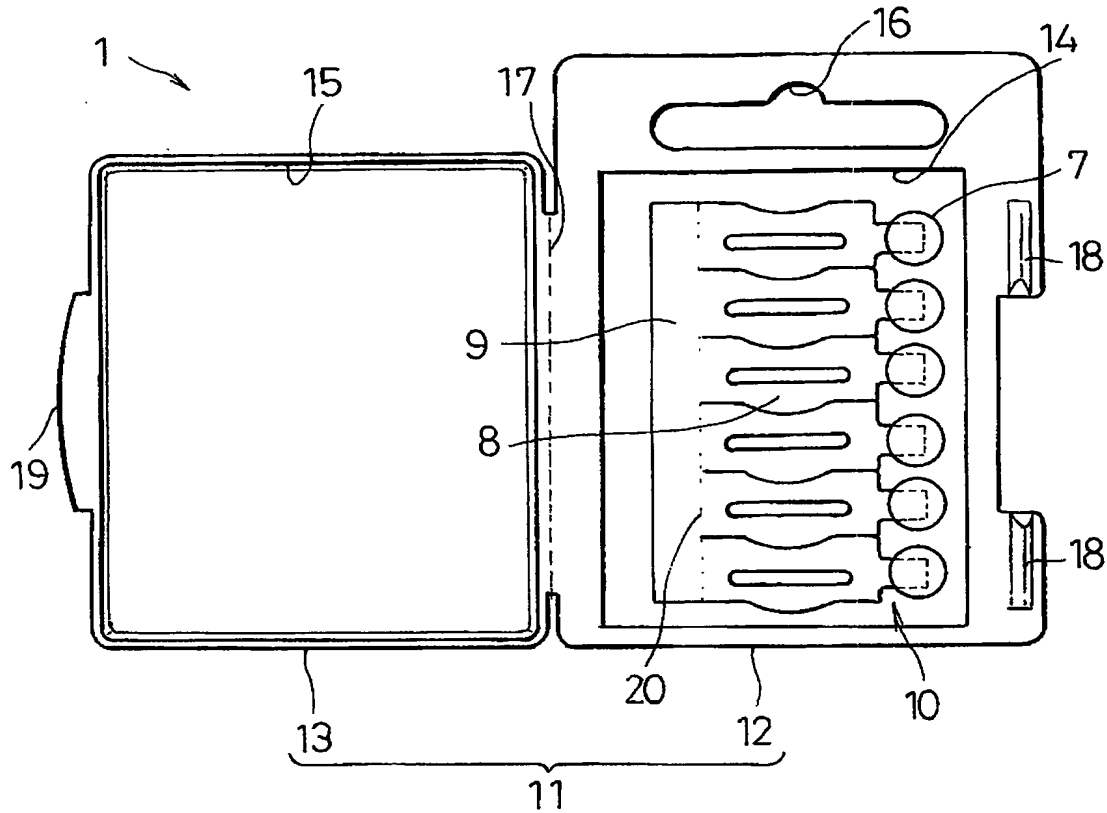
従来技術に係るボタン形電池の包装体の構成を示す斜視図。

【符号の説明】

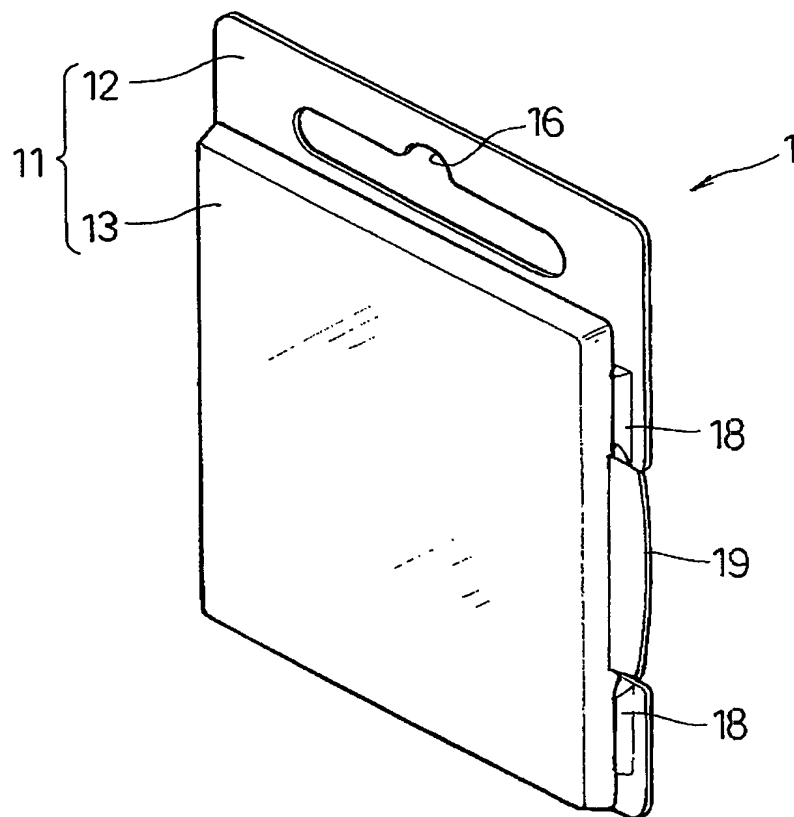
- 1、2、3 商品包装体
- 5 接続テープ
- 7 ボタン形電池 (小型商品)
- 8、28、40 タブ
- 11、21、31 包装体
- 12、22、32 本体面
- 13、23、33 蓋体面
- 14 本体凹部 (商品収容凹部)
- 15 蓋体凹部 (商品収容凹部)
- 17, 27a~27c, 47a~47c 折曲線 (ヒンジ部)
- 18 嵌合凸部
- 19 嵌合片
- 20、44、50 切取線
- 24 タブ形成面
- 25、36 電池収容凹部 (商品収容凹部)
- 34 第1タブ形成面
- 35 第2タブ形成面
- 37、42 嵌合凸部
- 38、41 嵌合凹部

【書類名】 図面

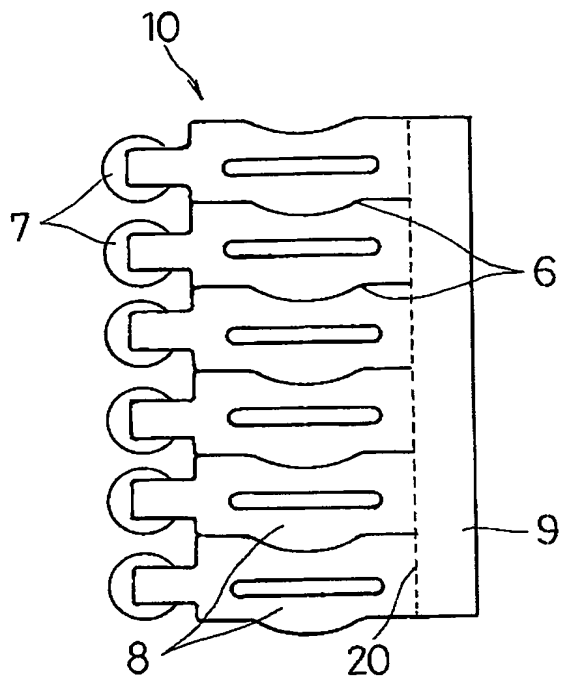
【図 1】



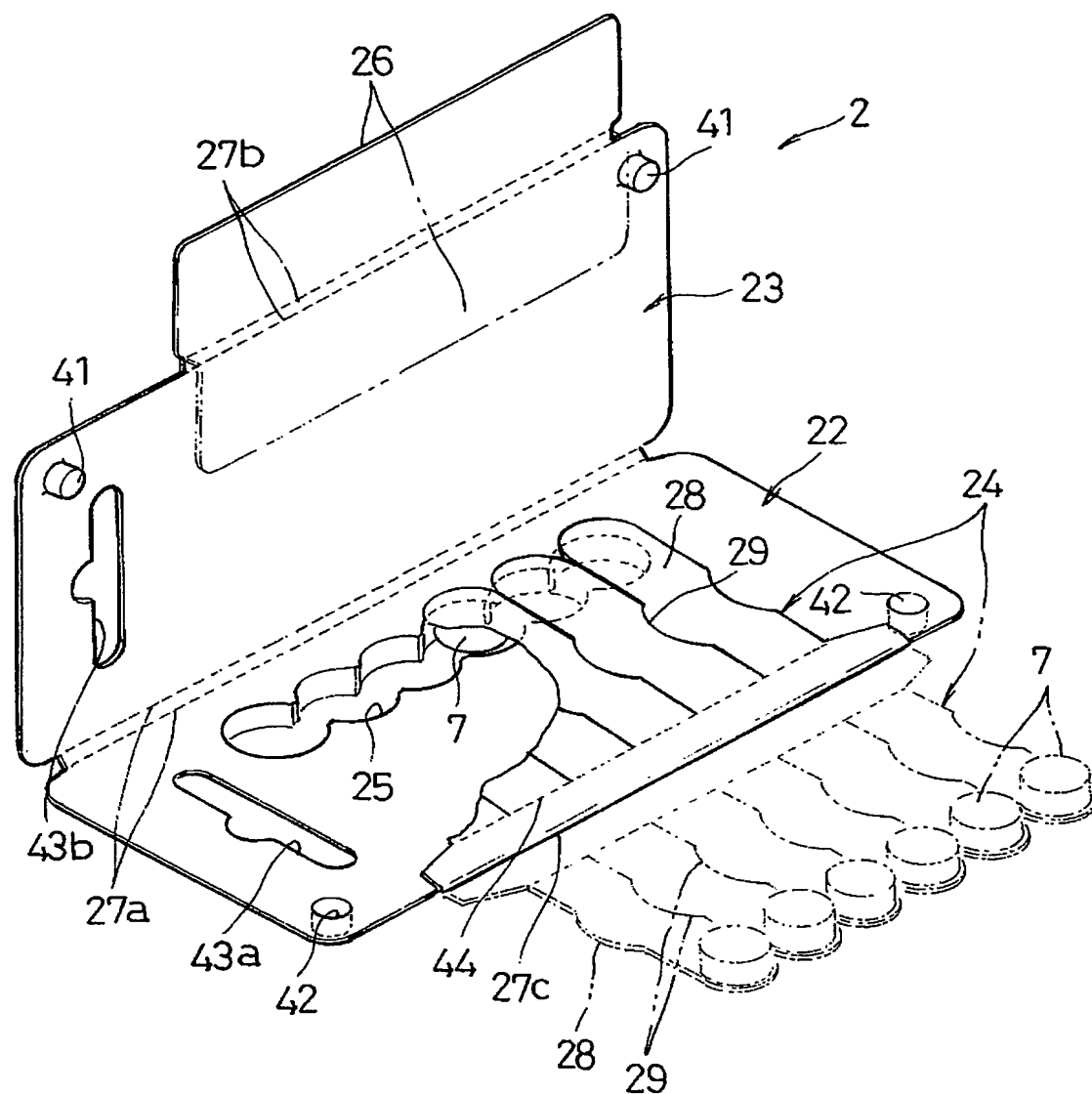
【図 2】



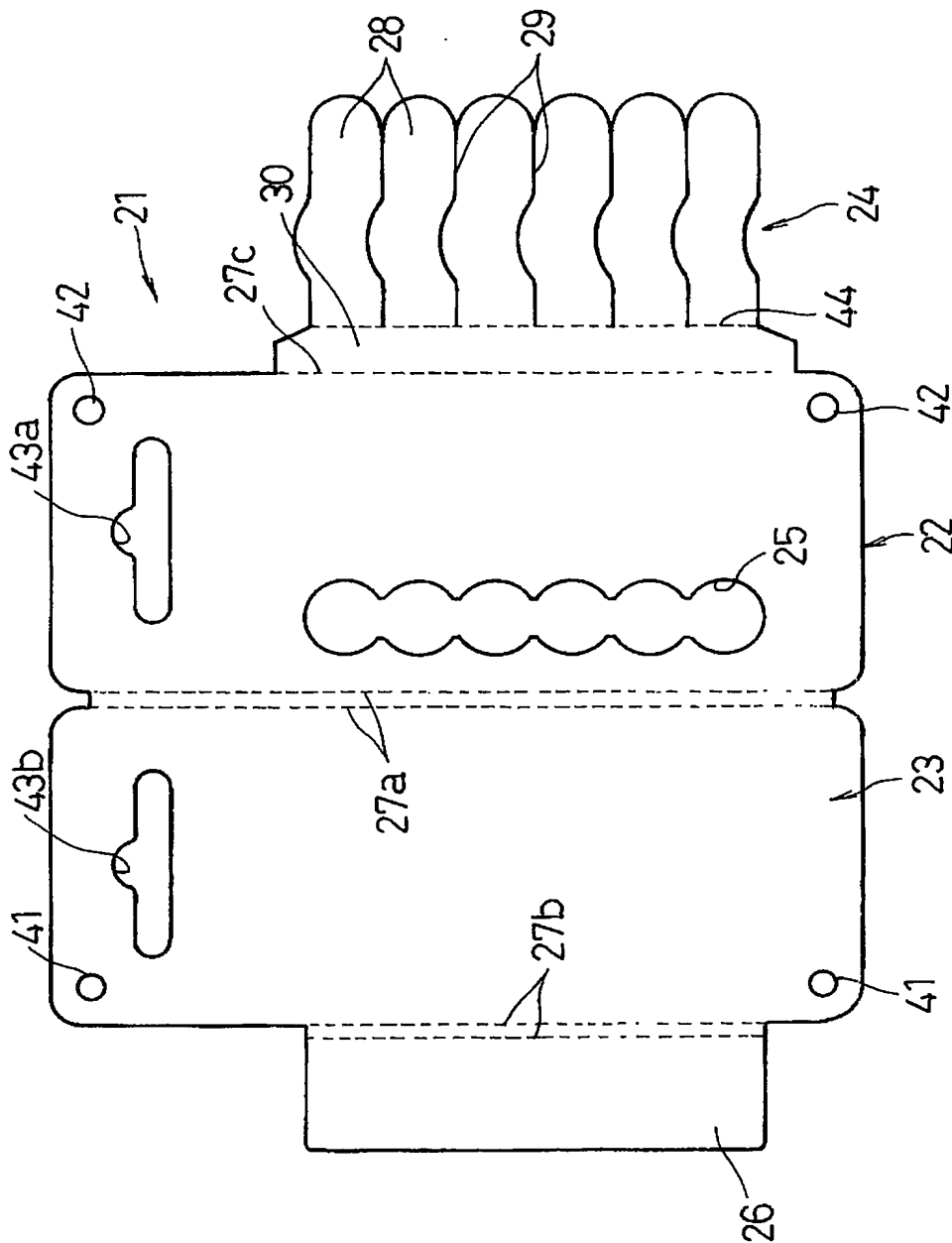
【図 3】



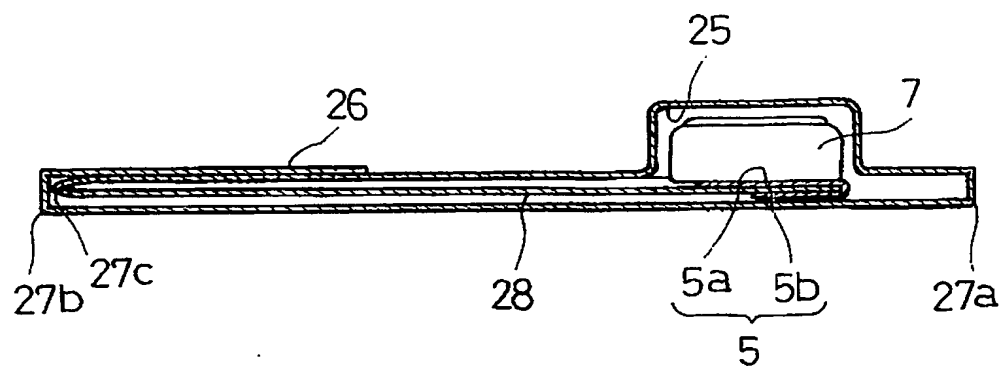
【図 4】



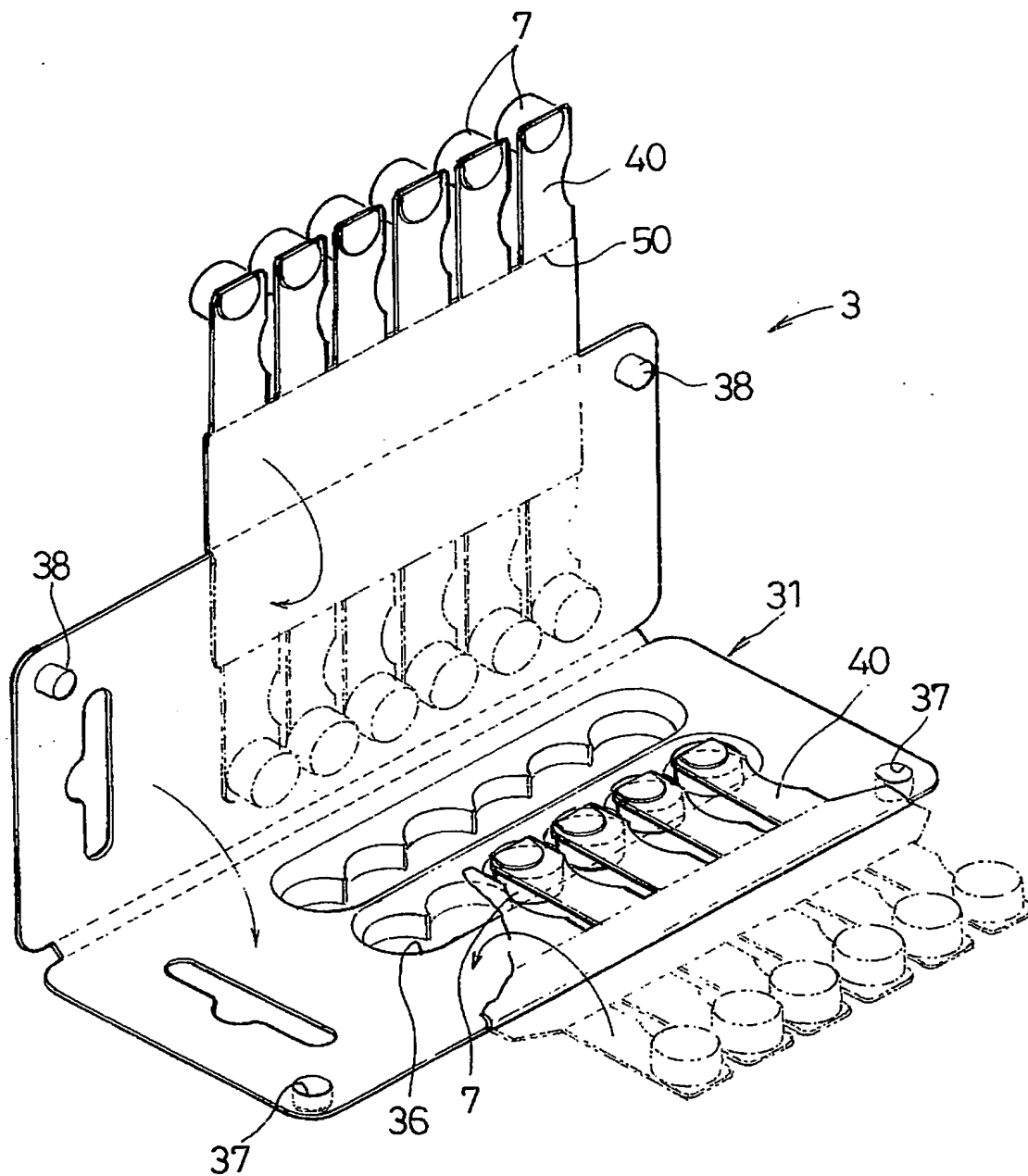
【図 5】



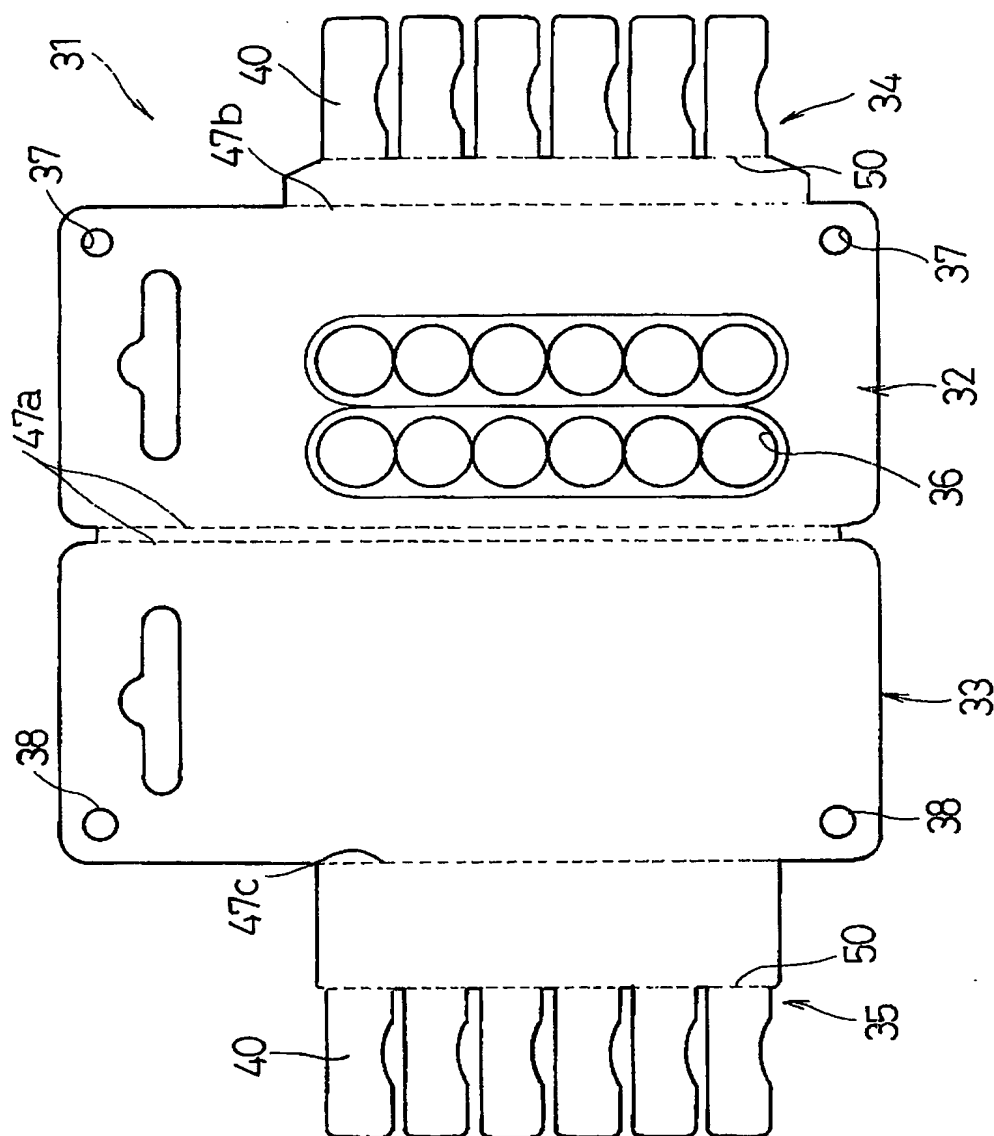
【図 6】



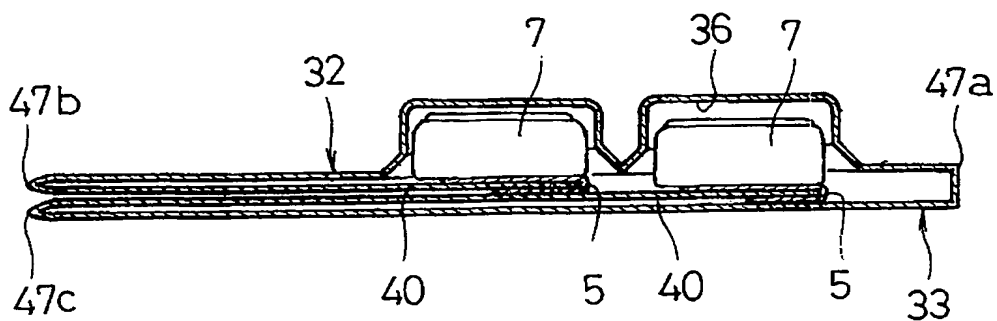
【図 7】



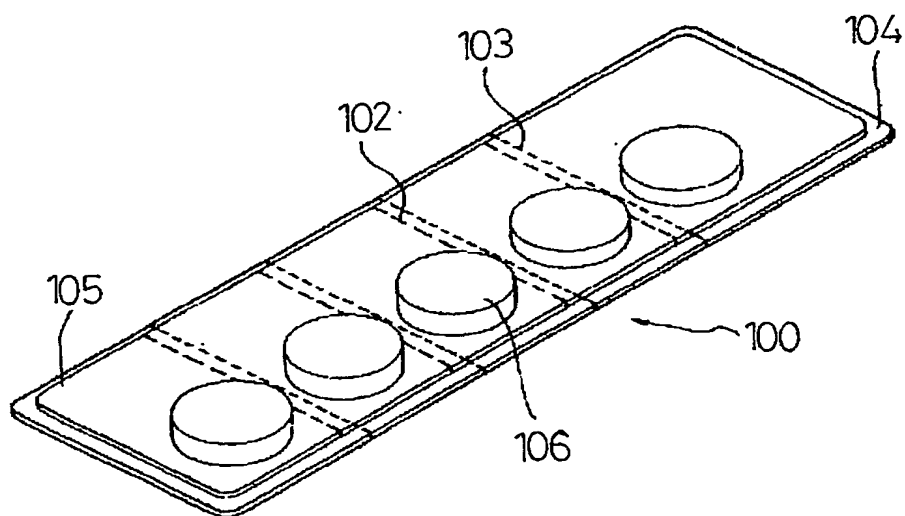
【图 8】



【図 9】



【図 10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 取り扱いし難い小型商品を複数個収容して、1個ずつ扱いやすい状態で取り出すことができる商品包装体を提供する。

【解決手段】 複数のボタン形電池7それぞれに先端を貼着したタブ8を切取線20を介して保持片9に連結した連結小型商品10を、PETシート材を加熱成形した包装体11内に収容する。タブ8を切取線20から切り離すと1個のボタン形電池7を取り出すことができ、タブ8を摘んで保持できるので、指先での取り扱いも困難なほど小型化されたボタン形電池7であっても、その扱いは容易となる。

【選択図】 図1

特願 2002-264907

出願人履歴情報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日

1990年 8月28日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真1006番地

氏 名

松下電器産業株式会社